

北海道銀行がマネーツリーの金融インフラサービス 「MT LINK」とAPI連携を開始 「どうぎんアプリ」で一生通帳の利用が可能に

マネーツリー株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役：ポールチャップマン、以下「マネーツリー」）の金融インフラプラットフォーム「MT LINK」が、株式会社 北海道銀行（頭取：笹原 晶博、以下「北海道銀行」）の「どうぎんアプリ」で採用されましたことをご報告いたします。



「どうぎんアプリ」とMT LINKの連携により、2018年2月21日にバージョンアップされる北海道銀行の「どうぎんアプリ」に「一生通帳 by Moneytree」の機能が導入されます。「どうぎんアプリ」のご利用者は、「一生通帳 by Moneytree」の機能によって北海道銀行の口座情報および他銀行の口座、クレジットカード、電子マネー、マイル・ポイントの情報が閲覧可能となります（注）。
なお、北海道銀行の情報は、銀行APIを用いて提供されます。



MT LINKは金融インフラプラットフォームとして金融業界を中心に利用されているAPIです。既存のアプリとの連携により、ご利用者のニーズに合わせた機能の表示が可能であること、セキュリティに配慮したサービスであることなどが評価され、金融機関での採用が拡大しています。

また、Moneytreeアプリはプライバシーの側面にも配慮しています。利用者は、アプリと同じアカウント情報で、MT LINKを導入しているサービスに利用者の同意の下、自身の情報を連携しアクセスすることが可能となる点において、両者のサービスを利用する上でも利便性の高い仕組みになっています。

マネーツリーのMT LINKは、セキュリティ、プライバシー、透明性を基盤に、今後もみなさまの資産形成に役立つサービスを提供いたします。

(注) MT LINKを介して北海道銀行のインターネットバンキング「道銀ダイレクトサービス」へアクセスすることで、「どうぎんアプリ」内で閲覧可能となります。また、道銀ダイレクトサービスは申込手続きが必要です。

「どうぎんアプリ」について

北海道銀行が提供するスマートフォン向けアプリ。従来の口座残高・入出金明細照会などを搭載した「どうぎんアプリ」のバージョンアップに伴い「一生通帳 by Moneytree」機能などが追加。

マネーツリーについて

2012年に日本で起業。2013年より自動で一括管理する個人資産管理サービス「Moneytree」を提供し、AppleのBest of 2013、Best of 2014を2年連続で受賞。2015年より金融インフラプラットフォーム「MT LINK」を企業向けに開始し、業界標準の金融系APIを提供している。2017年よりオーストラリア市場でサービスを開始。設立初期より米国セールスフォース・ドットコム、SBIインベストメント、三大メガバンク系ファンド、地方銀行系ベンチャーキャピタル、海外大手運用会社から出資を受ける。お金にまつわるもっとも信頼されるプラットフォームの構築を目指す。

MT LINKについて

MT LINKは、国内2,600社以上の銀行口座(個人、法人)、クレジットカード、電子マネー、マイル・ポイントカード、証券口座の金融データをAPIとして提供。金融業界のみならず、他の領域においても新しい価値を提供する中立性の高い金融インフラプラットフォームとして認知されている。業界最高水準のセキュリティ、プライバシー、透明性をコアバリューとして評価され、現在、みずほ銀行、三井住友銀行、弥生、TKC、地方銀行、信用金庫など合計36社に提供している。

会社概要

会社名：マネーツリー株式会社
代表取締役：ポール チャップマン
資本金：13.3億円（資本準備金を含む）
設立日：2012年4月23日

本件に関するお問い合わせ

マネーツリー株式会社
広報担当 北方 薫
E-mail: press@moneytree.jp